

あ と が き

防府市豪雨災害検証委員会委員の皆様方には、長期間にわたりたくさんの有用なご意見をいただきまして、誠にありがとうございました。

平成21年7月21日に防府市を襲った豪雨災害は非常に過酷な災害でしたが、他地域での被災状況を見聞しますと、もっと大規模な災害が、今後もやって来る可能性があります。この教訓をこれからの災害対策に生かし、安全なまちづくりを行っていく必要があると思います。

私がお手伝いをさせていただいている他市において、数年前に大規模な土石流が起こり、多数の方が亡くなっています。その市でも検証委員会が設置され、その報告書により、現在、非常に熱心に防災啓発に力を入れておられます。その行政の熱意に打たれて、住民も積極的に共助に向けて動いています。

防府市におかれても、まず、公助の方が先頭に立って汗をかき、それを見た住民がやらなければいけないという気持ちになるように努力されることを切望します。

最後に報告書を作成するにあたり、資料を提供していただいた関係者の方々に感謝の意を表する次第です。

平成22年12月

防府市豪雨災害検証委員会

委員長 瀧本 浩一

《資料提供》 国土交通省山口河川国道事務所、山口県、下関地方気象台、長崎大学工学部、
株ぱらざ FM、防府市社会福祉協議会、関係自治会、株パスコ、国際航業株